

ProMED-mail情報 2021年 6月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
6月26日	コレラ ナイジェリア	ナイジェリアの首都アブジャでコレラが発生し、6月24日7名の死亡が報告された。6月23日の時点で、アブジャではコレラ疑いのある91名のうち、迅速診断テストキットにより3名のコレラ陽性を確認。5月以降、アブジャ市内では消化器症状を認める症例が散発的に報告されるようになり、監視体制を強化していた。
6月21日	エボラ出血熱 ギニア	WHOは19日、西アフリカのギニアにおけるエボラ出血熱の流行終息を発表。ギニアでは2月に2回目となる流行が宣言されてから合計23名(確定16名、疑い例7名)の患者が特定され、12名が死亡した。ゲノム解析の結果、今回のウイルスは2014年から2016年にギニアで流行したウイルスと非常に近い関係にあることが判明。この2つの流行の関連性は判明しておらず、今後さらなる調査が必要。
6月21日	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) ブラジル	ブラジルはサッカー大会「コパ・アメリカ」の参加者、選手やスタッフ37名を含む82名がCOVID-19に感染したと6月18日発表。6,926名の検査が行われた。参加チームは10チーム、その半数から感染者が報告され、開催地であるリオデジャネイロ、ブラジリア、クイアバ、ゴイアニアの4都市すべてで、大会関係者の感染を確認。ブラジルは、コロナウイルスによる死者数が50万人に迫る勢いで感染者数は世界で2番目に多い。
6月19日	ビブリオ・バルニフィカス感染症 米国	フロリダ州保健当局の報告によると6月18日までに10名のビブリオ・バルニフィカス感染者が確認され、そのうち4名が死亡したことが分かった。2020年は36名が感染し、そのうち7名が死亡。この感染症は、汚染された魚介類の摂取や皮膚の創傷などからヒトに感染。重症化すると菌血症を発生し、致死率は50%程度。特に肝疾患患者は重症化する可能性が大変高い。
6月14日	インフルエンザA(H1N1)v ドイツ	ドイツでインフルエンザA(H1N1)vのヒト感染を確認。患者はメクレンブルク・西ポメラニア州出身の17歳の少年で、4月18日にインフルエンザ様症状が出現。その後ロベルトコッホ研究所の国立インフルエンザセンターにおけるウイルス検査にて、ユーラシア型の鳥型豚H1N1インフルエンザウイルスであることが判明。
6月13日	サル痘 英国	5月25日、英国はサル痘の1名をWHOに報告。患者はナイジェリアのデルタ州在住、5月8日に英国に家族と到着。5月10日、顔の発疹が現れ、5月23日に病院を受診、入院となり25日にサル痘ウイルスに感染していることが分かった。隔離中の患者家族の1名もサル痘に感染していることが31日に判明。両者の健康状態は安定していて回復に向かっている。
6月13日	リフトバレー熱 ウガンダ	キルフラでリフトバレー熱による4名の死亡を確認。この病気は、家畜に多く見られる急性ウイルス性出血熱であるが、蚊に刺されるあるいは感染した動物と接触することでヒトに感染する。これまでに、この感染症はサンガ、キノニ、キガラマ、サブカウティ、ルシエレ地域で確認されている。
6月12日	鳥インフルエンザ(H5N6) 中国	中国四川省の成都で49歳女性がH5N6型ウイルスに感染。5月13日に発症し、5月16日入院。この患者は現在、重篤な状態。H5N6型は2014年以来、中国でヒト感染例が31名報告されている。
6月12日	マラリア パナマ	保健省によると、今年始めよりパナマにおけるマラリア感染が増加。第21週までの報告数は1,506名、東パナマが888名で最も多く、次にグナヤラが344名、ダリエンが193名。現在のところ、流行地域は主にグナヤラ、ダリエン、東パナマに限定している。
6月10日	狂犬病 タイ	当局の報告より、タイ北東部のスリン州で狂犬病により1名死亡したことが分かった。暴露後ワクチン接種に関しては不明。5月7日に症状が出現し、5月15日に狂犬病と確定され、その直後に死亡した。この狂犬病感染死亡例はタイで今年最初の報告、2020年の狂犬病感染患者の報告は3名。
6月4日	腸チフス フィリピン	2021年1月1日から5月19日まで、カラバルソン地域で合計68名の腸チフスが報告されており、地方保健省は住民に衛生管理の徹底を引き続き呼びかけている。腸チフスの発生件数はラグナ州が30名と最も多く、次いでカビテ州が26名、リサール州が6名、パタンガス州が1名。
6月2日	鳥インフルエンザ(H10N3) 中国	中国の国家衛生健康委員会は2日、江蘇省鎮江市に住む男性が鳥インフルエンザウイルス(H10N3)に感染したと発表、この型のヒトへの感染が確認されたのは世界で初めてであり、家禽類からヒトへの偶発的な異種間伝播で、大規模な感染拡大の危険性は極めて低いとしている。WHOによると、この男性がトリとの接触で感染したかは明らかではなく、現時点ではヒトからヒトへの感染兆候はない。